

市立千歳市民病院

所属メンバー

- ・ 横丸 博幸 (院長、昭和 51 年卒)
- ・ 内藤 広行 (診療科長、昭和 57 年卒)
- ・ 波多野典一 (医長、平成 4 年卒) (5 月～休職)
- ・ 中本 哲 (主任医長、平成 11 年卒)
- ・ 伊東 広臨 (医師、平成 12 年卒)

卒後臨床研修医

3 名 (病院全体で)

専門外来

- ・ 神経外来 (×3/月、北大出張医)
- ・ 心臓外来 (×2/月、北大出張医)
- ・ 内分泌外来 (×2/月、北大出張医)
- ・ 腎・アレルギー外来 (×1/週、横丸)
- ・ 慢性疾患外来 (×1/月、横丸)

市立千歳市民病院

病院全体の医師数	34 人
小児科医師数	4 人 (うち非常勤 0 人)

病院全体の病床数	190 床
小児科病床数(NICU、ベビーを除く)	18 床
NICU 病床数	0 床
新生児病床数(NICU を除く)	2 床

NICU としての認定 なし

平均小児科外来数	103.0 人/日
平均時間外外来数	6.5 人/日 (小児科医が診察したものです)

年間入院患者数	1,323 人/年
年間のべ入院患者数	5,234 人/年 (入院患者数×入院日数)
年間時間外入院患者数	263 人/年

年間分娩数	412 人/年
年間低出生体重児(2,500g 未満)数	43 人/年
極低出生体重児(1,500g 未満)数	0 人/年
年間呼吸管理患者数	0 人/年

市立千歳市民病院

論文・著書など

1. 中本 哲、伊東広臨、波多野典一、内藤広行、構丸博幸、佐藤泰征、岡本孝之、佐々木 聡：シクロスポリン治療が奏功したネフローゼ型紫斑病性腎炎の1例．市立千歳市民病院医誌 7： 1-13, 2011

学会発表

全国学会

なし

地方学会

1. 中本 哲、伊東広臨、波多野典一、内藤広行、構丸博幸：副鼻腔炎が波及して発症したと考えられる *S. constellatus* による化膿性髄膜炎の1例．日本小児科学会北海道地方会第281回例会、札幌市、2011/6
2. 中本 哲、伊東広臨、波多野典一、内藤広行、構丸博幸：副鼻腔炎が波及して発症したと考えられる *S. constellatus* による化膿性髄膜炎の1例．千歳市臨床医学研究会、千歳市、2012/1

その他社会貢献など

構丸博幸

1. “子どもの身体の発達と健康”（北海道子育て支援ワーカーズ）講師
2. “子どもの健康管理と病気”（千歳市社会福祉協議会）講師
3. 千歳市就学委員会 委員
4. 千歳市心臓検診判定委員会 委員
5. 千歳医師会 救急医療フォーラム 講演、千歳市、2011/11

内藤広行

1. 「子どもの事故を防ごう」．市立千歳市民病院市民健康講座 講師、2011/11

中本 哲

1. 「今冬の細菌性髄膜炎の3症例」．千歳市医師会病診連携セミナー、千歳市、2011/6
2. 「小児の救急受診」．千歳救急フォーラム、千歳市、2011/11